
リリカルなのは 銀の錬創士 to As

緑ねずみ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

リリカルなのは 銀の錬創士 to As

【Nコード】

N9539P

【作者名】

緑ねずみ

【あらすじ】

これは、一人の少年が違った運命をたどった物語。
(リリカルなのは 銀の錬創士 の続きです。前のブログに書いていたものを書きなおしています)

e p プロローグ

“それ”は本来、人の思いを後の時代に伝えるものだった。

しかし、“それ”は奇しくも善意によって改変され悪意の兵器となったのだ。

“それ”を作った世界は“それ”により半壊し、人々は絶望の淵に落ちた。

だが、七柱の賢者が“それ”を封印し、世界の危機は去った。

人々それ以来“それ”を『狂神』と祭り上げたと言われた

より

とある遺跡の古代文

e p プログ

時間は夜、深い深い闇の中にある森の奥。

そこにはサムが寝っ転がって空を見ていた。その空には幾万の星が光り輝いていた。

お主…何をするつもりじゃ？

その時不意にサムに念話が送られてくる。サムはその念話に小さい笑いを返す。

「じじいか……何をするってどういう意味だ？」

ほざけ、ユーノにワシの存在を明かし、更にはワシに会わすなどとの戯言を…お主まさかユーノをワシ等の仲間にするつもりじゃないじゃろっな？

念話の相手はイラついている声を送ってくるが、サムは益々笑みを深くし口を開ける。

「くくく。それもまた一興かと思うが。残念、はずれだ」

サムはそう言って、空を見たままの体勢で上半身を上げる。そして彼は続きを喋り始める。

「アイツにも真実を知る意味があるはずだ。その後に若旦那がどうなるか知ったこっちゃない」

奴の忘れ形見が死ぬことになってもか？お主、何がしたいんじゃない？

念話の相手は呆れた声で念話をしてくる。

「ハッ、死ぬ事を選ぶ方が救いなんじゃないか？それに俺は別にあの女のために動いているわけじゃない」

ぬかせ。お前は昔からあの女にゾッコン

サムはその言葉を遮るように一瞬でナイフを取り出し、ナイフを

茂みに向けて投げる。

「黙れ老いぼれ」

…まあ、よい。ワシはワシ本来の任務につかせてもらつ。ユーノに会うのはそれが終わってからだ。それは譲れん

「あゝそれでいい」

サムはメンドクサソウに手を振って、念話の相手にこれ以上の会話を拒否する意志を見せる。

念話の相手はもう話す気もないらしく、気配はもうそこにはなかった。

サムは一息つき、再び地面に体を倒す。そして目を瞑り溜息をつき

「 任務、か」

そう呟いた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9539p/>

リリカルなのは 銀の錬創士 to As

2011年1月9日00時39分発行